

平成27年度県立高等学校入学者選抜学力検査
国語

■ねらい、出題の内容、今後の学習指導のために

一 言語事項に関する問題

【ねらい】

中学校までに学習した漢字や文法を中心とした、言語事項についての理解度、定着度をみる問題です。

【出題の内容】

漢字の書き取り、助動詞に関する問題です。

【今後の学習指導のために】

語彙を豊かにすることは国語の基本です。また、文法を含む言葉の特徴やきまりについても基礎的な力を身に付ける指導が求められます。

二 韻文（短歌）

【ねらい】

複数の短歌を提示し、理解と鑑賞力をみる問題です。今年度は、「音」（無音も含む）を詠んだ短歌からの出題です。

【作者】短歌A 四賀光子 B 真鍋美恵子 C 安田章生 D 山中智恵子
E 秋葉四郎 F 佐藤佐太郎

【出題の内容】

- 1 基本的な短歌についての知識をもとに、短歌に詠まれた情景を読み取る問題です。
- 2 基本的な短歌についての知識をもとに、短歌に詠まれた情景を読み取る問題です。
- 3 短歌についての鑑賞文をもとに、短歌に詠まれた心情や情景を読み取る問題です。

【今後の学習指導のために】

韻文の指導の際には、言葉に込められたイメージを読み味わい、作者の思いや情景を読み取る力を養うことが大切です。一つのテーマを決め複数の作品を関連付けて指導することも有効です。

三 古典

【ねらい】

基本的な古文の読解を通して、基礎的な知識や読解力をみる問題です。

【出典】

「三冊子」

【出題の内容】

- 1 古典の基礎である歴史的仮名遣いの問題です。
- 2 本文の内容に関する会話文を完成させることにより、本文の内容の理解を確認する問題です。
- 3 話の結末についての理由を記述させることにより、本文の理解を確認する問題です。

【今後の学習指導のために】

古典に親しむ態度を育て、音読などを通して話の展開や内容を読み取る力を身に付けさせることが大切です。我が国の文化や伝統に親しむ態度を育てることも必要です。

四 文学的文章

【ねらい】

文学的文章の読解を通して、場面の展開や心情の変化を読み取る力、表現力などをみる問題です。

【出典】

作品 「風味  」まはら三桃

【出題の内容】

- 1 漢字の読み方に関する問題です。
- 2 登場人物の心情を表す表現から、登場人物の心情を正しく読み取る問題です。
- 3 登場人物の会話を朗読するという言語活動を通して、登場人物の心情を正しく読み取る問題です。
- 4 本文の表現の違いから、文脈に基づいて内容を正しく読み取る問題です。
- 5 登場人物の所作から、登場人物の心情を正しく読み取る問題です。
- 6 本文の表現効果を考えることを通して、本文についての理解を確認する問題です。

【今後の学習指導のために】

文学的文章の読解の指導では、人物の動作や会話、情景描写などから登場人物の心情を正しく読み取る力を身に付けさせることが求められます。さまざまな表現の効果について十分に読み味わうことも大切です。また、授業において、朗読などの言語活動を充実させたり、表現上の差異を考えさせたりすることも求められます。

五 説明的文章

【ねらい】

説明的文章の読解を通して、論理的な思考力や読解力をみるための問題です。

【出典】

「思考のチカラをつくる本」白取春彦

【出題の内容】

- 1 漢字の読み方に関する問題です。
- 2 助動詞の働きに関する文法の問題です。
- 3 文章全体の前半部を読み取ることができているかを確認する問題です。
- 4 文章全体における、ある段落の働きを確認する問題です。
- 5 文章全体の後半部を読み取ることができているかを確認する問題です。
- 6 文章全体から筆者の意見を捉えているかを確認する問題です。

【今後の学習指導のために】

説明的文章を読解するには、論理の展開を把握し、文章の要旨を捉える力を身に付けさせることが求められます。また、読み取った内容を的確に表現する力も求められており、「読むこと」と「書くこと」のバランスのとれた指導が望まれます。

六 条件作文

【ねらい】

二つの非連続型テキストを比較し評価した上で、それに対する自分の考えや意見を明確にして書くことを通して、論理的な思考力や表現力を総合的にみる問題です。

【出題の内容】

二種類のポスターから読み取ったことに対して自分の考えや意見を述べる問題です。

【今後の学習指導のために】

連続テキストや非連続テキストについて、その内容を読み取り、根拠を明らかにして自分の考えや意見を書く力を身に付けさせる指導が望まれます。

■まとめ

国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成のためには、まず基礎的・基本的事項の確実な習得が求められます。そして、「話す・聞く」「書く」「読む」という各領域相互の関連を図り、言語活動の充実に努めながら、計画的に指導することが大切です。

■正解と正答率表

() 内は部分正答率

問題		正	解	正答率 %
大	小			
一	1	(1)	芽	92.7
		(2)	養(う)	76.5
		(3)	縮尺	84.6
		(4)	警告	78.3
二	2	エ		52.2
二	1	B		55.9
	2	E		70.4
	3	(1)	秋の光	62.5
		(2)	山みな声となりて	70.2
三	1	ととのわず		9.7
	2	(1)	俳諧はなくてもあるべし。	77.7
		(2)	ウ	76.7
	3	頑固な態度をとらずに不満があっても抑えて行き来するから。		5.5 (15.2)
四	1	A	びみょう	99.6
		B	となり	99.6
	2	看板はもうできあがっているの で自分は描くことができな いと思ひ込み、自分が悪 かったと後悔している。		6.1 (29.1)
	3	ア		80.6
	4	自分がないほうがうまくい くという気持ちから解放さ れ、美術部に戻りたいとい う本当の思いを抑えるこ とができなくなった。		4.3 (24.3)

問題		正	解	正答率 %
大	小			
四	5	(1)	やるなあ、カンミ。	49.8
		(2)	エ	59.3
	6	オ		62.3
五	1	A	なっとく	99.6
		B	みちび(いて)	98.2
	2	ウ		60.5
	3	(1)	考え方の世間の規範	75.9
		(2)	実体ではなく、新聞・雑誌 や、うわさや見聞からつく られたイメージにすぎない	8.9 (14.2)
	4	イ		58.9
5	エ		60.9	
	6	世間一般に従うことは結局は付 和雷同でしかないことだと知り、 無自覚的に正しいとされ疑われ ていない先入観をできるだけ排 除すること。		1.6 (26.9)
六			与えられた条件のもとで、述べられ ていること。	20.4 (67.4)